

昭和55年度

おかあさんの読書感想文募集!

本に親しむことは、広い知識と教養を身につけ、豊かな心を養うために、きわめて望ましいことです。そして読書の輪を広げることは、暖かい人間関係と住みよい地域社会の形成へとつながってゆくでしょう。

また、明るい家庭を築き、健全な子供を育成するうえで、親と子が共に読書することも大切です。

近年県内各地において、主婦を中心としたさまざまな形の読書活動が盛んになってきております。今年も次のとおり読書感想文コンクールを実施します。

○応募資格

山口県内に在住する女性(学生・生徒を除く)

○課題図書

つぎの本の中から1冊を選んでください

- ・言葉の海へ(高田 宏)・ふたつの文化の間で(広中和歌子)・アメリカ草枕(大岡 信)・侍(遠藤周作)
- 小説・種田山頭火・まだ陽のある脚(又田竹栖)・千利休とその妻たち

(三浦綾子)・やまあいの煙(重兼芳子)・おはん(宇野千代)・ぼくらは海へ(那須正幹)・郵便局員ねこ(ゲイル・E・ヘイリー)

()内は著者

○字 数 400字詰め原稿用紙5枚(2000字)程度

○締切り 昭和55年9月20日(土)

○送り先 〒753 山口市後河原字松柄
山口県立図書館「おかあさんの読書感想文コンクール」係あて

○応募作品

- (1) 作品は1人1点とします。
- (2) 作品には必ず題名、住所、職業、年齢、自宅の電話番号を記入してください。
- (3) 作品は返しません。

○入選発表

審査の結果、優秀作品は10月下旬に発表し、本人に通知します。

詳しくは、山口県立山口図書館(電話 0839 (24) 2111へ。

長門警察署から

山口県警察官の募集

▶受付期間 7月14日～9月13日

▶受験資格

①警察官(A)

学校教育法に規定する大学(短大を除く)の卒業者、または、昭和56年3月までに卒業見込みの者。

②警察官(B)

上記(A)以外の者。

③年齢…昭和28年4月2日から昭和38年4月1日までに生れた男子。

▶採用予定人員

①警察官(A) 40名

②警察官(B) 40名

▶第1次試験…10月5日(日)

▶第2次試験…11月中旬

▶最終合格発表…12月中旬

▶試験会場

県警察学校及び萩・下関・宇部・岩国・徳山の各警察署。

詳しくは、長門警察署か最寄りの駐在所・派出所におたずねください。

中小企業のみなさんへ...

福祉施設整備資金貸付制度

▶対象者

- ・従業員のために福祉施設を設置する中小企業者

▶融資限度額

- ・単独 1,000万円 ・共同 2,000万円
- ・託児施設 3,000万円
- ・身障施設 2,000万円

▶金利 年7.75%(保証料) 0.7%

▶貸付期間 10年以内(身障18年以内)

▶取扱金融機関

山口銀行、山口相互、信用金庫

身障者・中高年齢者等雇用促進資金

▶対象者

- ・身障者や中高年齢者を新たに雇用する中小企業者

▶融資限度額

- ・1人につき 200万円
- ・1企業 800万円

▶金利 年7.5%(保証料) 0.65%

▶貸付期間 5年以内(据置1年)

▶取扱金融機関 山口銀行、山口相互、信用金庫

詳しくは、山口県労政課へおたずねください。

覚せい剤・シンナーなど

薬物乱用追放運動

全国的に増加している、覚せい剤の乱用やシンナー・接着剤遊びを追放しようとする運動がはじまっています。

県内においても、これら薬物の乱用は検挙者などの増加率が全国平均を大きく上廻り、今後も増加の傾向にあります。最近の状況は次のとおりです。

◆覚せい剤乱用は……

- 青少年・婦人、サラリーマンなど一般県民層に拡大しています。
- 妄想、幻覚者が前年の2倍に増えています。
- 依然として暴力団の資金源の約半数を占めています。

◆シンナー・接着剤遊びは……

○乱用者の大半が青少年で補導も前年に比べて88%増えています。

○15歳～17歳の少年による乱用が多く、低年齢化しています。

◆大麻(マリファナ)の乱用……

○これら薬物を連用すると、妄想・幻覚といった普通の人には感じられないことが感じられ、精神異常者となり、殺人放火、交通事故をおこしたりします。また一度だけ打つたり、吸つてもこのような症状をおこす場合があります。

◆この機会に麻薬・覚せい剤などについてのおそろしさを十分認識して、みんなで力をあわせて薬物乱用を追放しましょう。

「夏の交通安全健民運動の実施」

○期 間 7月26日～8月31日

- 重点目標 ①夏休み中の子供の交通事故防止。
②無謀運転の防止。
③暴走族の追放。
④二輪車前照灯昼間点灯の徹底。